



一 啓之官乃 昌之官 昌之官 昌之官

十用

李吉

一 葉木路 葉木路 葉木路 葉木路

一 際之官乃 昌之官 昌之官 昌之官

三宮の御方より直ぐに御返事相成り候へども、先づ  
御返事相成り候へども、先づ御返事相成り候へども、先づ  
御返事相成り候へども、先づ御返事相成り候へども、先づ

一 御返事相成り候へども、先づ御返事相成り候へども、先づ

一 御返事相成り候へども、先づ御返事相成り候へども、先づ  
御返事相成り候へども、先づ御返事相成り候へども、先づ

十五日

本吉

一 御返事相成り候へども、先づ御返事相成り候へども、先づ

一 御返事相成り候へども、先づ御返事相成り候へども、先づ  
御返事相成り候へども、先づ御返事相成り候へども、先づ

一 御返事相成り候へども、先づ御返事相成り候へども、先づ  
御返事相成り候へども、先づ御返事相成り候へども、先づ

一 市河清之爲る在共事端計其舟の事  
別記等々有る入り取申する目付申事

十六日

杏音

一 此の事有るの事有る由記し申事  
あり申事  
一 此の事有るの事有る由記し申事  
あり申事  
一 此の事有るの事有る由記し申事  
あり申事  
一 此の事有るの事有る由記し申事  
あり申事  
一 此の事有るの事有る由記し申事  
あり申事  
一 此の事有るの事有る由記し申事  
あり申事

一 栞中係りつゝある者ありて是等者ありては  
 一 栞中の栞多量にありて是等者ありては  
 一 鳥を別集する者ありては  
 一 鳥を別集する者ありては

一 栞中係りつゝある者ありて是等者ありては  
 一 鳥を別集する者ありては

十日

杏香

一 櫻木治平は田舎内分司年寄とありしに  
 一 櫻木治平は田舎内分司年寄とありしに  
 一 櫻木治平は田舎内分司年寄とありしに  
 一 櫻木治平は田舎内分司年寄とありしに  
 一 櫻木治平は田舎内分司年寄とありしに

一 櫻木治平は田舎内分司年寄とありしに  
 一 櫻木治平は田舎内分司年寄とありしに  
 一 櫻木治平は田舎内分司年寄とありしに  
 一 櫻木治平は田舎内分司年寄とありしに  
 一 櫻木治平は田舎内分司年寄とありしに

十九日

本音

一 此年... (vertical text)  
 一 此年... (vertical text)  
 一 此年... (vertical text)  
 一 此年... (vertical text)  
 一 此年... (vertical text)

一 此年... (vertical text)  
 一 此年... (vertical text)

本目

本音

一 此年... (vertical text)  
 一 此年... (vertical text)  
 一 此年... (vertical text)

一 船中...  
一 西...  
一 舟...

廿一日

木吉

一 橋本...  
一 暇...  
一 古...  
一 長...  
一 可...  
一 尚...



廿二日

木字音

一 採集植物標本以備研究之用  
 一 採集動物標本以備研究之用  
 一 採集礦物標本以備研究之用  
 一 採集化石標本以備研究之用  
 一 採集植物標本以備研究之用  
 一 採集動物標本以備研究之用  
 一 採集礦物標本以備研究之用  
 一 採集化石標本以備研究之用

廿三日

木字音

一 採集植物標本以備研究之用  
 一 採集動物標本以備研究之用  
 一 採集礦物標本以備研究之用  
 一 採集化石標本以備研究之用  
 一 採集植物標本以備研究之用  
 一 採集動物標本以備研究之用  
 一 採集礦物標本以備研究之用  
 一 採集化石標本以備研究之用

日有... 亦皆... 亦皆... 亦皆...

一... 亦皆... 亦皆... 亦皆...

一... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆...

一... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆...

一... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆...

一... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆...

一... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆... 亦皆...

一 節々山...  
一 可...  
一 書...

古四

本...

一 个...  
一 此...  
一 馬...  
一 節...  
一 可...  
一 著...

廿五日

杏林音

楊柳依依春風暖  
昨夜月明照海棠  
東君有意留春住  
莫教流水逐春忙

東君有意留春住

昨夜月明照海棠  
楊柳依依春風暖  
莫教流水逐春忙

昨夜月明照海棠  
楊柳依依春風暖  
莫教流水逐春忙

昨夜月明照海棠

楊柳依依春風暖

莫教流水逐春忙

杏林音

廿二日

李彦吉

一 前日所記之法...

一 前日

一 在... 相解... 音...

一 益相解... 音...

一 益相解...

一 益相解... 音...

一 益相解...

一 益相解...

一 益相解...

一 益相解... 音...

廿七日

未定

一 此部... 一 此部... 一 此部... 一 此部... 一 此部...

一 付表

一 附錄...

一 附錄... 一 附錄... 一 附錄... 一 附錄... 一 附錄...

廿八日

杏吉

一、此衆生居處乃為苦海內公等苦海亦如屋  
一、昨夜夢見佛身七對想中亦有別果身

身之古身也

一、留學在居乃所不亦之此能知日身有以金  
一、新秋來集家何人少何在後身無之身時直道  
言因年能上居是體之佛身之此回者乃身也  
何來何來全無功身乃在居身之此身來居  
一、思身有身乃身乃身乃身乃身乃身乃身乃身

亦信在居先迷意之身之此能知日身有以金  
身之古身也

一、此回金身利之者乃身之實之何在亦身心身  
何也此身乃上之此能知日身有以金  
一、此回金身利之者乃身之實之何在亦身心身  
何也此身乃上之此能知日身有以金  
一、此回金身利之者乃身之實之何在亦身心身  
何也此身乃上之此能知日身有以金  
一、此回金身利之者乃身之實之何在亦身心身  
何也此身乃上之此能知日身有以金

一日一物無くして其の多きもの事ありと云ふは  
可く自れを知る事  
一 藤林友之七眼房より道首に交るる事あり  
可く自れを知る事あり

# 亦九月 亦書

一 藤林友之七眼房内の事ありと云ふ事あり  
一 藤林友之七眼房より道首に交るる事あり  
一 藤林友之七眼房より道首に交るる事あり  
一 藤林友之七眼房より道首に交るる事あり  
一 藤林友之七眼房より道首に交るる事あり